

「七宝焼研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

1 活動内容

○七宝焼（※）のデザインを考える作業から、焼成までの創作活動をする。

○交流の家の職員から基本的な知識や実技について学ぶ。

※ 七宝焼とは、陶磁器のように土を焼くのではなく、土台に金属板（銅板や銀板）を用いて、その表面にガラスの粉でできた七宝絵の具（釉薬）をのせ、約800℃の高温で約2分焼く。釉薬の乗せ具合、微妙な温度差で、二度と同じ物ができ得ないので、世界でただ一つの作品となる。

2 活動のねらい

○基礎的な七宝焼の技術を習得するとともに、個々の持っている表現力や発想力を高める。

○作品を最後まで作り遂げた時の成就感を味わう。

3 研修対象者

小学生以上とする。

ただし、保護者又は責任の持てる引率者と組んで活動する場合はこの限りではない。

4 研修人数

最大50人

5 実施時期、研修時間、研修場所

(1) 実施時期 通年

(2) 研修時間 午前 9:00～12:00

午後 13:30～16:30

※片づけを含め3時間程度必要

(3) 研修場所 海洋クラフト室（海洋研修館1F）



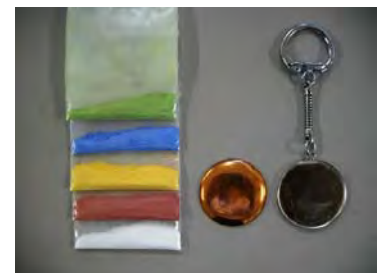
約3.5cm

【完成例 キーホルダー型】

6 準備物

(1) 個人：七宝焼基本セット（七宝素材と七宝絵の具）

①ブローチA丸型		1,130円
②ブローチB小判型		1,030円
③キーホルダーC丸型		1,340円
④キーホルダーDハート型		1,440円
⑤キーホルダーF小判型		1,340円



【七宝焼基本セット】

※別途取寄せ費用（540円～）

※研修10日前までに予約：ボランティア棟1F売店 イシダスポーツ 090-6417-9042

(2) 交流の家（海洋クラフト室）：水性ペン、ホセ（竹べら）、紙やすり、金属やすり、接着剤、焼成用のステンレス網

7 指導

交流の家の職員が団体に対し、指導を行う。

8 展開

- (1) 「講義・指導依頼書」の提出 ※交流の家ホームページよりダウンロード可能
必要事項を記入し、団体代表者が研修3ヶ月前までに郵送又はFAXで交流の家へ提出する。
「講義・指導依頼書」が到着後、職員は確認の電話をするとともに実施の可否について伝える。
- (2) 「七宝焼基本セット」の予約
※交流の家ホームページより「FAX注文書」のダウンロード可能
研修10日前までにボランティア棟1F売店 イシダスポーツ (050-3494-9630) へFAXで
予約をする。注文受付後、売店は確認の電話をする。

- (3) 研修開始前
集合場所・・・海洋クラフト室 (海洋研修館1F)
集合時刻・・・午前 9:00 午後 13:30



(4) 製作手順

- ①七宝絵の具の粉末を色別に小さな容器に入れ、水を8分目まで注ぐ。ホセ（竹べら）を使い、お米をとぐ要領でかき混ぜた後、上部の白く濁った部分を流しに捨てる。発色を良くするための作業で、これを2～3回繰り返す。

最後に、七宝絵の具が軽く水にひたるぐらいに調整する。

- ②紙やすりで銅版に傷をつける。（裏表両方）

- ③デザイン（模様）を考える。

（細かいデザインは、七宝絵の具を盛りつけるのが難しい。）

必要があれば水性ペン等で下書きをする。（エンピツは×）

※事前に考え、紙等に記入し持参すると時間の短縮になる。

- ④焼成する際、銅板が曲がらないように、まず、裏面に七宝絵の具（黒色）をつける。

（厚さ1mmぐらいで銅版が見えない程度にまんべんなく）

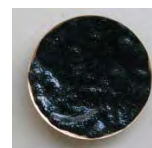
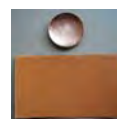
ある程度乾くまで待つ。（5分程度）

- ⑤表面のデザイン（模様）に合わせて、七宝絵の具を盛りつける。

（厚さ1mmぐらいで銅版が見えない程度にまんべんなく）

※七宝絵の具ののりが悪い場合は水分を多くする。

※違う色の七宝絵の具は混ぜない。（色を変える時は、ホセ（竹べら）を水洗いする。）



- ⑥七宝絵の具の盛りつけが終わったら、焼成用のステンレス網に載せ、落とさないように七宝焼電気炉まで運ぶ。



- ⑦交流の家職員が七宝焼電気炉で焼成する。<800℃>

※必ず、皮手袋をして作業をすること

2分後、のぞき窓から見て、表面がなめらかになったら取り出す。

冷めるまで待つ、網からはずす。

※焼成した作品でのやけどに注意する。

- ⑧焼成した作品が冷めるまで待つ。（5分程度）

- ⑨焼成した作品が土台（キーホルダーの枠）に入るか確認する。入らない場合は金属やすりで磨く。

⑩焼成した作品の裏面に接着剤を塗り，土台に固定する。
(接着面を確認してきちんと接着する。)

(5) 研修実施後

- ①借用物品を返却する。(ホセ[竹べら]は水洗い)
- ②海洋クラフト室を清掃する。(机，床，流し 等)

講 義 ・ 指 導 依 頼 書

国立江田島青少年交流の家

この依頼書は、講義又は指導の題目ごとに作成して、できるだけ早く提出してください。

団体名								代表者名		
連絡先	電話番号									
参加者の 年齢構成		15歳未満	15～18歳	19～22歳	23～25歳	26～29歳	30歳以上	合計		
	男子									
	女子									
	合計									
題 目					実施日時	月 日 () 時 分 から 時 分 まで				
講義・指 導のねら い										
講義・指 導内容に ついての 希望事項										
その他 参考事項										

青少年交 流の家の 記入欄	担当者名										
	教材教具										
	会 場										
	特記事項										